

平成26年度 【 学園研究費助成金 】 研究成果報告書

学部名 文化情報学部

フリガナ トチクボ ユウジ
氏名 栢窪 優二

研究期間 平成26年度

研究課題名 地域連携・学外連携による映像メディア教育の実践研究

研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	栢窪 優二	文化情報学部	教授
研究分担者			
研究分担者			

1. 本研究開始の背景や目的等 (200字~300字程度で記述)

近年、高性能のビデオカメラや編集機材が低価格で流通するようになり、映像メディアを取り巻く環境は大きく変わってきた。テレビ局や制作会社でなくても、市民レベルで高品位のハイビジョン映像作品を制作し、地域情報などをインターネットで自由に発信できる時代になった。そこで本研究は、大学が地域や学外との連携を積極的に進めながら、地域情報を伝える映像作品を制作・発信する連携プロジェクトに取り組み、その成果や教育効果などを分析・評価した上で、新しい時代の映像メディア教育の方向性を探ろうという実践研究である。本研究は、こうした地域・学外連携を通して、本学の教育内容の質を高める目的で立案した。

2. 研究方法等 (300字程度で記述)

本研究では映像メディア教育・実践モデルとして、①地域連携プロジェクト「豊田市旭地区の広報PRビデオ制作」(豊田市旭観光協会/豊田市と連携・協力)、②学外連携プロジェクト「ライチョウの未来・ドキュメンタリー制作」(信州大学生態学研究室と連携・協力)を立ち上げた。そしてメディア情報学科の学生(栢窪研究室の4年生ゼミと3年生ゼミ)が卒業研究の一環として、このプロジェクトに参加し、映像作品の企画、取材・撮影、映像編集・仕上げ、インターネット発信までの過程を担当する形でプロジェクトを実施した。その上で、プロジェクトの過程や成果、学生の反応などを分析・評価して、映像メディアを軸にした地域連携・学外連携プロジェクトの果たす教育効果や今後の課題、可能性などを考察した。

3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

映像メディア教育・実践モデルにした2つのプロジェクトについて報告する

①「豊田市旭地区の広報PRビデオ制作」(豊田市旭観光協会/豊田市と連携・協力)

このプロジェクトは豊田市旭地区と関係する地元の広告代理店からの提案でスタートした。2014年4月に提案があり、大学側としては遠隔地なので、現地撮影は1日で行うことを条件に制作依頼を受諾した。参加したのは4年生ゼミの学生6人。5月中旬までに地元観光協会と打合せを進めて撮影台本を作成。6月上旬に現地ロケを実施。7月に広報ビデオ「自然・食・湯遊の山里～豊田市旭地区」(長さ6分)を完成、地元観光協会HPや豊田市サイトなどで動画公開された。リポーターは学生2人が担当、女子大生らしい視点で地域の魅力を発信したPR広報ビデオとして高い評価を受けた。大学から豊田市に完成作品DVD版を寄贈した。

②「ライチョウの未来・ドキュメンタリー制作」(信州大学生態学研究室と連携・協力)

このプロジェクトは椋山から信州大に提案してプロジェクトをスタートしたもので、前年度から事前準備を進めていた。信州大・中村浩志特任教授は日本を代表するライチョウの研究者である。ライチョウは生息数が減少していて、ライチョウの保護活動にも取り組んでいる。参加したのは3年生ゼミの学生11人。現地撮影は信州大と教員(柗窪)が担当し、学生はナレーター、ナビゲーター、音声収録・編集、仕上げを担当した。2014年9月から信州大側と打合せを進め、10月に仮台本をまとめ、11月に仮完成版を制作した。そして12月に長さ28分の作品を完成させ、大学サイト等で動画公開した。乗鞍岳に生息するライチョウの1年を映像記録した本格的なドキュメンタリーで、第56回科学技術映像祭などに出品した。

プロジェクトを分析・評価した結果は下記の通りである。①外部との連携・協力でレベルの高い映像制作に取り組めた。②学生は映像コンテンツ制作の貴重な経験が得られた。③打合せや調整・相談などを通してコミュニケーション能力を磨く場にもなった。④指導教員としては、学生がプロジェクトを通して映像メディアの魅力や可能性を実感することができ、大きな成果が得られたと受け止めている。⑤問題点や課題は学生の指導が難しいという点であった。今回は実務経験の豊かな教員が指導したので問題はなかったが、今後こうしたプロジェクトを広げるには、指導できる教員の確保や教育環境の整備などが求められる。今後もこうした地域・学外連携を進め、その成果を広く紹介するための研究室WEBサイトも構築した。

4. キーワード (本研究のキーワードを1以上8以内で記載)

①地域連携	②学外連携	③メディア	④映像
⑤広報ビデオ	⑥ドキュメンタリー	⑦教育	⑧

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著者名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他○名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なものの数件を記載。)

<映像作品のインターネット動画公開>

広報PRビデオ「自然・食・湯遊の山里～豊田市旭地区」 <http://youtu.be/1rW-PPLyKZM>

ドキュメンタリー「ライチョウの未来～北アルプス・乗鞍岳」 <http://youtu.be/Blh3Wp9zXxA>

椋山女学園大学 柗窪研究室 WEB サイト <http://tochikubo.ci.sugiyama-u.ac.jp/>